

令和4年2月4日掲載

- ・土木工事標準仕様書（その2）における一部訂正
- ・土木工事標準仕様書（その3）における一部訂正及び追加

1 訂正内容

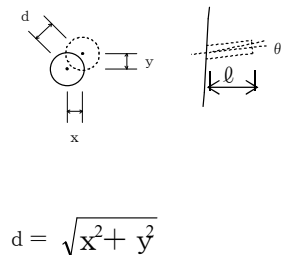
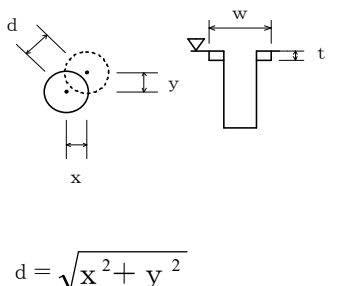
- (1) 新潟県土木工事標準仕様書（その2） (別紙1)
出来形管理基準及び規格値
 - ・第6編3章7節5条 集水井工 測定項目 欄において、偏心量の記載の誤りを訂正。
- (2) 新潟県土木工事標準仕様書（その3） (別紙2)
監督技術基準・施工管理関係資料のうち、生コンクリート標準配合表
 - ・表中の「スランプ又はスランプフロー」欄において、40-12-25(20)(早強)の数字の誤りを訂正。
 - ・表中の「適用構造物」欄において、30-12-25(20)(早強)の注意書きの数字の誤りを訂正。

2 追加内容

- (1) 生コンクリート標準配合表新旧対照表（追加） (別紙3)
 - ・新潟県土木工事標準仕様書（その3）において、監督技術基準・施工管理関係資料のうち、生コンクリート標準配合表新旧対照表を追加。

別紙 1

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
6 砂防編	3 斜面対策	7 地下水排除工	4		集排水ボーリング工	削孔深さ ℓ	設計値以上	全数	 $d = \sqrt{x^2 + y^2}$	6-3-7-4	
						配置誤差 d	100				
						せん孔方向 θ	±2.5度				
6 砂防編	3 斜面対策	7 地下水排除工	5		集水井工	基準高 ∇	±50	全数測定。 偏心量は、杭頭と底面の差を測定。	 $d = \sqrt{x^2 + y^2}$	6-3-7-5	
						偏心量 d	組立式				150
							沈下式				L ≤ 10mの場合 150 L > 10mの場合 L * 1.5%以内 かつ500以内
						長さ L					-100
						巻立て幅 w					-50
						巻立て厚さ t					-30
6 砂防編	3 斜面対策	9 抑止杭工	6		合成杭工	基準高 ∇	±50	全数測定。		6-3-9-6	
						偏心量 d	D/4以内かつ 100以内				

別紙2 別表-1 生コンクリート標準配合表

(令和4年2月15日以降適用)

単価コード	設計表示名称	仕様内訳(配合)							適用構造物	設計基準強度(σ _{ck}) N/mm ²	普通ポルトランドセメントの場合の単価コード
		コンクリートの種類による記号	呼び強度	スランプ又はスランブフロー (cm)	粗骨材の最大寸法 (mm)	セメントの種類による記号	水セメント比 W/C (%)	セメント量 C (kg/m ³)			
T1631	18-8-25 (20) ^{注14} (高炉) w/c ≤ 65%	普通	18	8~18 ^{注11}	25 (20) ^{注14}	BB	65以下	[共通]	均しコンクリート	-	T1634
T1632	18-8-40 (高炉) w/c ≤ 65%	普通	18	8~15 ^{注11}	40	BB	65以下	[共通][砂防]	均しコンクリート、地すべり抑止鋼管杭中詰コンクリート	-	T1635
TZJ2012001	18-8-25 (20) ^{注14} (高炉) w/c ≤ 60%	普通	18	8~18 ^{注11}	25 (20) ^{注14}	BB	60以下	[共通][トンネル][河川・砂防][下水道]	管渠の巻立コンクリート、基礎コンクリート、側溝、集水溝、埋戻しコンクリート、ブロック積(張)の胴込・裏込コンクリート、トンネル(インバート)笠コンクリート、下水道構造物(無筋)	18	TZJ2010001
TZJ2012010	18-8-40 (高炉) w/c ≤ 60%	普通	18	8~15 ^{注11}	40	BB	60以下	[共通][道路][トンネル][河川・砂防][下水道]	擁壁(無筋)、管渠の巻立コンクリート、基礎コンクリート、側溝、集水溝、埋戻しコンクリート、橋台(無筋)、橋脚(無筋)、トンネル(インバート)笠コンクリート、下水道構造物(無筋)	18	TZJ2010036
TZJ2012008	18-5-40 (高炉) w/c ≤ 60%	普通	18	5~15 ^{注11}	40	BB	60以下	[河川・砂防]	砂防コンクリート(護岸工を除く)	18	-
T1643	21-8-25 (20) ^{注14} (高炉) w/c ≤ 60%	普通	21	8~18 ^{注11}	25 (20) ^{注14}	BB	60以下	[河川・砂防][海岸]	河川構造物(無筋)、練石積(張)の胴込・裏込コンクリート、海岸構造物(無筋)	21	-
T1644	21-8-40 (高炉) w/c ≤ 60%	普通	21	8~15 ^{注11}	40	BB	60以下	[河川・砂防][海岸]	河川構造物(無筋)、河川根固ブロック海岸構造物(無筋)、海岸消波根固ブロック(無筋)	21	-
TZJ2012002	21-8-25 (20) ^{注14} (高炉) w/c ≤ 55%	普通	21	8~18 ^{注11}	25 (20) ^{注14}	BB	55以下	[河川・砂防]	水密性・凍結融解抵抗性を要求する河川構造物(無筋) ^{注16}	21	TZJ2010009
TZJ2012019	21-8-40 (高炉) w/c ≤ 55%	普通	21	8~15 ^{注11}	40	BB	55以下	[河川・砂防]	水密性・凍結融解抵抗性を要求する河川構造物(無筋) ^{注16}	21	TZJ2010048
TZJ2012005	24-12-25 (20) ^{注14} (高炉) w/c ≤ 55%	普通	24	12~18 ^{注11}	25 (20) ^{注14}	BB	55以下	[共通][道路][河川・砂防][下水道]	擁壁(鉄筋)、函渠、側溝蓋、集水溝蓋、胸壁(ハラベツ)、ケーン橋台(鉄筋)、橋脚(鉄筋)、地覆、河川構造物(鉄筋)、下水道構造物(鉄筋)	24	TZJ2010018
T1642	24-12-40 (高炉) w/c ≤ 55%	普通	24	12~15 ^{注11}	40	BB	55以下	[共通][道路][河川・砂防][下水道]	擁壁(鉄筋)、函渠ケーン、深礎橋台(鉄筋)、橋脚(鉄筋)、地覆、河川構造物(鉄筋)、下水道構造物(鉄筋)	24(21)は深礎	TZJ2010059
T1653	30-12-25 (20) ^{注14} (高炉) w/c ≤ 50%	普通	30	12~18 ^{注11}	25 (20) ^{注14}	BB	50以下	[道路][海岸]	【塩害対策用】 ^{注17} 橋台(鉄筋)、橋脚(鉄筋)、地覆、擁壁(鉄筋)、函渠 【塩害対策用】 ^{注17} 海岸構造物(鉄筋)	30	T1645
T1654	30-12-40 (高炉) w/c ≤ 50%	普通	30	12~15 ^{注11}	40	BB	50以下	[道路][海岸]	【塩害対策用】 ^{注17} 橋台(鉄筋)、橋脚(鉄筋)、地覆、擁壁(鉄筋)、函渠 【塩害対策用】 ^{注17} 海岸構造物(鉄筋)	30	-
T1650	30-12-25 (20) ^{注14} (高炉) w/c ≤ 55%	普通	30	12~18 ^{注11}	25 (20) ^{注14}	BB	55以下	[道路]	消雪パイプ埋戻	30	TZJ2010029
TZJ2012006	(30)-15-25 (20) ^{注14} (高炉) C ≥ 350kg w/c ≤ 55%	普通	(30) ^{注8}	15~21 ^{注11}	25 (20) ^{注14}	BB	55以下	[共通]	場所打ち杭(ベントリハース、アースドリル等)	24	-
T1630	(30)-15-40 (高炉) C ≥ 370kg w/c ≤ 50%	普通	(30) ^{注8}	15(18) ^{注11 注12}	40(25(20)) ^{注14・15}	BB	50以下	[海岸]	海洋コンクリート(無筋)(水中コンクリート)	-	-
TZJ2012040	(18)-15-40 (高炉) C ≥ 270kg w/c ≤ 60%	普通	(18) ^{注8}	15(18) ^{注11 注12}	40(25(20)) ^{注14・15}	BB	60以下	[トンネル]	トンネル(アーチ、側壁)	-	TZJ2010073
TZJ2010018	24-12-25 (20) ^{注14} (普通) w/c ≤ 55%	普通	24	12~18 ^{注11}	25 (20) ^{注14}	N	55以下	[道路]	PC橋・RC橋のスラブ桁の中詰、床版 ^{注7} 、RC中空床版 ^{注7}	24	-
T1656	30-12-25 (20) ^{注14} (早強) w/c ≤ 55%	普通	30	12~18 ^{注11}	25 (20) ^{注14}	H	55以下	[道路]	PC桁(横組)	30	-
TZJ2010029	30-12-25 (20) ^{注14} (普通) w/c ≤ 55%	普通	30	12~18 ^{注11}	25 (20) ^{注14}	N	55以下	[道路]	合成床版 ^{注7}	30	-
T1652	30-12-25 (20) ^{注14} (普通) w/c ≤ 50%	普通	30	12~18 ^{注11}	25 (20) ^{注14}	N	50以下	[道路]	【塩害対策用】 ^{注17} PC橋・RC橋のスラブ桁の中詰、床版 ^{注7} 、RC中空床版 ^{注7} 、合成床版 ^{注7}	30	-
T1651	30-12-25 (20) ^{注14} (早強) w/c ≤ 45%	普通	30	12~18 ^{注11}	25 (20) ^{注14}	H	45以下	[道路]	【塩害対策用】 ^{注17} PC桁(横組)	30	-
T1657	40-12-25 (20) ^{注14} (早強) (JIS同等品) w/c ≤ 55%	普通	40	18 ^{注12} ~21(45~60) ^{注11 注13}	25 (20) ^{注14}	H	55以下	[道路]	PC桁(T桁) ^{注7} 高性能AE減水剤等使用	40	-
T1657	40-12-25 (20) ^{注14} (早強) (JIS同等品) w/c ≤ 55%	普通	40	18 ^{注12} ~21(45~60) ^{注11 注13}	25 (20) ^{注14}	H	55以下	[道路]	PC桁(箱桁・中空床版 ^{注7}) 高性能AE減水剤等使用	40	-
T1655	40-12-25 (20) ^{注14} (早強) (JIS同等品) w/c ≤ 45%	普通	40	18 ^{注12} ~21(45~60) ^{注11 注13}	25 (20) ^{注14}	H	45以下	[道路]	【塩害対策用】 ^{注17} PC桁(箱桁・中空床版 ^{注7}) 高性能AE減水剤等使用	40	-
TZJ2012027	曲げ4.5-2.5-40 (高炉) w/c ≤ 45%	舗装	曲げ4.5	2.5	40	BB	45以下	[道路]	コンクリート舗装	曲げ4.5	TZJ2010069
TZJ2012029	曲げ4.5-6.5-40 (高炉) w/c ≤ 45%	舗装	曲げ4.5	6.5	40	BB	45以下	[道路]	コンクリート舗装(簡易な舗設機械及び人力による舗設)	曲げ4.5	TZJ2010071

- 基本 1.用途については標準的なものを示したもので、構造物の目的、現場・施工条件等を考慮して水セメント比、スランプ等の配合を決定する。
- 2.コンクリートの配合は、原則として構造物の設計基準強度または要求性能上必要な水セメント比のいずれか厳しい条件で選定する。
- セメント 3.「セメントの種類による記号」とは次のとおりとする。【N:普通ポルトランドセメント、BB:高炉セメントB種、H:早強ポルトランドセメント】
- 4.セメントは、橋梁上部工に用いるコンクリートを除き、原則として高炉セメントB種を使用する。なお、海岸・砂防以外の用途では、確実なひび割れ対策が必要な場合、早期強度を必要とする場合や寒中コンクリートの場合等必要に応じて高炉セメントB種以外のセメントを使用出来る。
- 5.鋼橋のコンクリート床版では収縮に問題が無く、入念な養生を行うことで高炉セメントB種を使用することができる。
- 6.普通ポルトランドセメントを使用する場合は「セメントの種類による記号」欄のBBをNと読み替え、「普通ポルトランドセメント使用の場合の単価コード」欄の単価コードを使用する。
- 混和材(剤) 7.床版、合成床版、PC床版等で膨張材を使用する場合など、特殊な混和材(剤)を使用する場合は、別途考慮する。
- 強度 8.呼び強度は、早強ポルトランドセメント及び特殊な配合を使用する場合を除き材齢28日の供試体強度とし、圧縮強度試験は、JIS A 1108及びJIS A 1132、曲げ強度試験は、JIS A 1106及びJIS A 1132による。
- 9.呼び強度の()内は参考値である。
- 空気量 10.空気量は4.5%を標準とする。
- スランプ 11.コンクリートのスランプは「設計表示名称」欄の値を標準(鉄筋コンクリートのスランプは12cmを標準)とするが、「スランプ又はスランブフロー」欄に示す範囲で変更することができる。但し、スランプが12cmを超える場合は、平成29年9月27日付け技第408号「コンクリート工の生産性向上に係るガイドラインの運用について(通知)」に従うこと。
- 12.トンネル(アーチ、側壁)、海洋コンクリート(無筋)(水中コンクリート)で施工条件等により受発注間で協議を行い骨材最大寸法を25(20)mmとした場合、スランプを18cmとすることができる。
- 13.40-12-25(早強)について、施工条件等により受発注間で協議を行いスランプフロー45cm~60cmに変更することができる。
- 骨材 14.粗骨材規格欄の25(20)は、25mm砂利か、20mm砕石のいずれかを使用する生コンであることを示す。
- 15.トンネル(アーチ、側壁)、海洋コンクリート(無筋)(水中コンクリート)は、施工条件等により受発注間で協議を行い骨材最大寸法を25(20)mmとすることができる。
- 耐久性 16.水密性を要求する構造物は水槽・地下室等の構造物、凍結融解抵抗性を要求する構造物は連続してあるいはしばしば水で飽和される部材断面が20cm程度以下の構造物(地中の構造物を除く)とする。
- 17.塩害地域の橋梁等における耐久性に関する設計上の目標期間として100年を目安とする場合の水セメント比は、道路橋示方書・同解説Ⅲコンクリート橋・コンクリート部材編(平成29年11月、社団法人日本道路協会)P186表一解6.2.1に示す水セメント比以下とする。
- 条件明示 18.注4、5、6、7、10、11、12、13、15、17で標準と異なる条件となる場合は、施工条件総括表に明示する。

生コンクリート標準配合表(新潟県土木工事標準仕様書(その3)監督技術基準・施工管理関係資料)新旧対照表

ページ	【現行(令和2年度)】生コンクリート標準配合表 新潟県 令和2年	【改定案(令和3年度)】生コンクリート標準配合表 新潟県 令和3年	改定理由																																																																																																				
45	<p style="text-align: center;">生コンクリート標準配合表</p> <p style="text-align: center;">別表-1 生コンクリート標準配合表 (令和3年2月15日以降適用)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">単価コード</th> <th rowspan="2">設計表示名称</th> <th colspan="4">仕様内訳(配合)</th> <th rowspan="2">適用構造物</th> <th rowspan="2">設計基準強度 (σck) N/mm²</th> <th rowspan="2">普通ポルトランドセメントの場合の単価コード</th> </tr> <tr> <th>コンクリートの種類に呼び強度による記号</th> <th>呼び強度</th> <th>スランパ(㎝)</th> <th>粗骨材の最大寸法(㎜)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>T1631</td> <td>18-8-25(20)^{注13}(高炉) w/c≦65%</td> <td>普通</td> <td>18</td> <td>8^{注11}</td> <td>25(20)^{注14}</td> <td>BB</td> <td>65以下</td> <td>[共通]</td> <td>均しコンクリート</td> <td>-</td> <td>T1634</td> </tr> <tr> <td>T1632</td> <td>18-8-40(高炉) w/c≦65%</td> <td>普通</td> <td>18</td> <td>8^{注11}</td> <td>40</td> <td>BB</td> <td>65以下</td> <td>[共通]</td> <td>均しコンクリート、地すべり抑止鋼管杭中詰コンクリート</td> <td>-</td> <td>T1635</td> </tr> <tr> <td>TZJ2012001</td> <td>18-8-25(20)^{注13}(高炉) w/c≦60%</td> <td>普通</td> <td>18</td> <td>8^{注11}</td> <td>25(20)^{注14}</td> <td>BB</td> <td>60以下</td> <td>[共通]</td> <td>管渠の巻立コンクリート基礎コンクリート、側溝、集水溝、埋戻しコンクリート、アロック(強)の胴込・裏込コンクリート、トンネル(トンネル)</td> <td>18</td> <td>TZJ2010001</td> </tr> </tbody> </table> <p>空気量 スランパ</p> <p>10. AEコンクリートを用いることを原則とし、空気量は4.5%を標準とする。 11. スランパ打設でスランパ8cmに よりがたい場合は12cm、または「打ち込み時の最小スランパ」を満足する生コン荷卸し地点の目標スランパ」でスランパを指定することができる。 12. 30-15-25(高炉)について、スランパは18cmとすることができる。 13. 40-12-25(早強)について、高性能AE減水剤を使用することとする。スランパは12cmを標準とするが、契約後現場条件等で標準によりがたい場合は受発注間で協議を行い変更することができる。 14. 鉄筋コンクリートのスランパは12cmを標準とする。但し、契約後現場条件等で標準によりがたい場合は、受発注間で協議を行いスランパを変更することができる。</p>	単価コード	設計表示名称	仕様内訳(配合)				適用構造物	設計基準強度 (σck) N/mm ²	普通ポルトランドセメントの場合の単価コード	コンクリートの種類に呼び強度による記号	呼び強度	スランパ(㎝)	粗骨材の最大寸法(㎜)	T1631	18-8-25(20) ^{注13} (高炉) w/c≦65%	普通	18	8 ^{注11}	25(20) ^{注14}	BB	65以下	[共通]	均しコンクリート	-	T1634	T1632	18-8-40(高炉) w/c≦65%	普通	18	8 ^{注11}	40	BB	65以下	[共通]	均しコンクリート、地すべり抑止鋼管杭中詰コンクリート	-	T1635	TZJ2012001	18-8-25(20) ^{注13} (高炉) w/c≦60%	普通	18	8 ^{注11}	25(20) ^{注14}	BB	60以下	[共通]	管渠の巻立コンクリート基礎コンクリート、側溝、集水溝、埋戻しコンクリート、アロック(強)の胴込・裏込コンクリート、トンネル(トンネル)	18	TZJ2010001	<p style="text-align: center;">生コンクリート標準配合表</p> <p style="text-align: center;">別表-1 生コンクリート標準配合表 (令和4年2月15日以降適用)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">単価コード</th> <th rowspan="2">設計表示名称</th> <th rowspan="2">コンクリートの種類による記号</th> <th rowspan="2">呼び強度</th> <th colspan="2">仕様内訳(配合)</th> <th rowspan="2">粗骨材の最大寸法(㎜)</th> <th rowspan="2">呼び強度による記号</th> <th rowspan="2">水セメント比 W/C(%)</th> <th rowspan="2">セメント量C (kg/m³)</th> <th rowspan="2">適用構造物</th> <th rowspan="2">設計基準強度 (σck) N/mm²</th> <th rowspan="2">普通ポルトランドセメントの場合の単価コード</th> </tr> <tr> <th>スランパ又はスランパフロー(㎝)</th> <th>呼び強度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>T1631</td> <td>18-8-25(20)^{注14}(高炉) w/c≦65%</td> <td>普通</td> <td>18</td> <td>8-18^{注11}</td> <td>25(20)^{注14}</td> <td>BB</td> <td>65以下</td> <td>[共通]</td> <td>均しコンクリート</td> <td>-</td> <td>T1634</td> </tr> <tr> <td>T1632</td> <td>18-8-40(高炉) w/c≦65%</td> <td>普通</td> <td>18</td> <td>8-15^{注11}</td> <td>40</td> <td>BB</td> <td>65以下</td> <td>[共通]</td> <td>均しコンクリート、地すべり抑止鋼管杭中詰コンクリート</td> <td>-</td> <td>T1635</td> </tr> <tr> <td>TZJ2012001</td> <td>18-8-25(20)^{注14}(高炉) w/c≦60%</td> <td>普通</td> <td>18</td> <td>8-18^{注11}</td> <td>25(20)^{注14}</td> <td>BB</td> <td>60以下</td> <td>[共通]</td> <td>管渠の巻立コンクリート基礎コンクリート、側溝、集水溝、埋戻しコンクリート、アロック(強)の胴込・裏込コンクリート、トンネル(トンネル)</td> <td>18</td> <td>TZJ2010001</td> </tr> </tbody> </table> <p>空気量 スランパ</p> <p>10. 空気量は4.5%を標準とする。 11. コンクリートのスランパは「設計表示名称」欄の値を標準(鉄筋コンクリートのスランパは12cmを標準)とするが、「スランパ又はスランパフロー」欄に示す範囲で変更することができる。但し、スランパが12cmを超える場合は、平成29年9月27日付け技第408号「コンクリート工の生産性向上に係るガイドラインの運用について(通知)」に従うこと。 12. トンネル(アーチ側壁)、海洋コンクリート(無筋)(水中コンクリート)で施工条件等により受発注間で協議を行い骨材最大寸法を25(20)mmとした場合、スランパを18cmとすることができる。 13. 40-12-25(早強)について、施工条件等により受発注間で協議を行いスランパフロー45cm～60cmに変更することができる。</p>	単価コード	設計表示名称	コンクリートの種類による記号	呼び強度	仕様内訳(配合)		粗骨材の最大寸法(㎜)	呼び強度による記号	水セメント比 W/C(%)	セメント量C (kg/m ³)	適用構造物	設計基準強度 (σck) N/mm ²	普通ポルトランドセメントの場合の単価コード	スランパ又はスランパフロー(㎝)	呼び強度	T1631	18-8-25(20) ^{注14} (高炉) w/c≦65%	普通	18	8-18 ^{注11}	25(20) ^{注14}	BB	65以下	[共通]	均しコンクリート	-	T1634	T1632	18-8-40(高炉) w/c≦65%	普通	18	8-15 ^{注11}	40	BB	65以下	[共通]	均しコンクリート、地すべり抑止鋼管杭中詰コンクリート	-	T1635	TZJ2012001	18-8-25(20) ^{注14} (高炉) w/c≦60%	普通	18	8-18 ^{注11}	25(20) ^{注14}	BB	60以下	[共通]	管渠の巻立コンクリート基礎コンクリート、側溝、集水溝、埋戻しコンクリート、アロック(強)の胴込・裏込コンクリート、トンネル(トンネル)	18	TZJ2010001	<p>・「空気量」について「AEコンクリートを用いることを原則とし」を削除。 ・「スランパ」の欄が「スランパ又はスランパフロー」の欄に変更。 ・「スランパ」について「コンクリート工の生産性向上に係るガイドラインの運用について(通知)」に従うこと」など、3項目に改正(通知は仕様書(その3) P. 9 8を参照)。</p>
単価コード	設計表示名称			仕様内訳(配合)							適用構造物	設計基準強度 (σck) N/mm ²	普通ポルトランドセメントの場合の単価コード																																																																																										
		コンクリートの種類に呼び強度による記号	呼び強度	スランパ(㎝)	粗骨材の最大寸法(㎜)																																																																																																		
T1631	18-8-25(20) ^{注13} (高炉) w/c≦65%	普通	18	8 ^{注11}	25(20) ^{注14}	BB	65以下	[共通]	均しコンクリート	-	T1634																																																																																												
T1632	18-8-40(高炉) w/c≦65%	普通	18	8 ^{注11}	40	BB	65以下	[共通]	均しコンクリート、地すべり抑止鋼管杭中詰コンクリート	-	T1635																																																																																												
TZJ2012001	18-8-25(20) ^{注13} (高炉) w/c≦60%	普通	18	8 ^{注11}	25(20) ^{注14}	BB	60以下	[共通]	管渠の巻立コンクリート基礎コンクリート、側溝、集水溝、埋戻しコンクリート、アロック(強)の胴込・裏込コンクリート、トンネル(トンネル)	18	TZJ2010001																																																																																												
単価コード	設計表示名称	コンクリートの種類による記号	呼び強度	仕様内訳(配合)		粗骨材の最大寸法(㎜)	呼び強度による記号	水セメント比 W/C(%)	セメント量C (kg/m ³)	適用構造物	設計基準強度 (σck) N/mm ²	普通ポルトランドセメントの場合の単価コード																																																																																											
				スランパ又はスランパフロー(㎝)	呼び強度																																																																																																		
T1631	18-8-25(20) ^{注14} (高炉) w/c≦65%	普通	18	8-18 ^{注11}	25(20) ^{注14}	BB	65以下	[共通]	均しコンクリート	-	T1634																																																																																												
T1632	18-8-40(高炉) w/c≦65%	普通	18	8-15 ^{注11}	40	BB	65以下	[共通]	均しコンクリート、地すべり抑止鋼管杭中詰コンクリート	-	T1635																																																																																												
TZJ2012001	18-8-25(20) ^{注14} (高炉) w/c≦60%	普通	18	8-18 ^{注11}	25(20) ^{注14}	BB	60以下	[共通]	管渠の巻立コンクリート基礎コンクリート、側溝、集水溝、埋戻しコンクリート、アロック(強)の胴込・裏込コンクリート、トンネル(トンネル)	18	TZJ2010001																																																																																												